

講義名	起業・事業承継論			授業形態	
担当教員	岡田 恵実	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

起業はみなさんにとって身近なものでしょうか？ たとえば、「起業家」と聞いて誰を思い浮かべますか？アマゾンやアップルなどの世界的企業の創業者でしょうか？ 日本であれば、ユニクロやソフトバンクの社長、古くは松下幸之助や本田宗一郎がもしもありません。彼らは確かに偉大な起業家ですが、起業とは一部の特別な人だけが選ぶ道なのでしょうか？

実際には、起業にはさまざまな形があり、誰にとっても選択肢になり得るものです。

この授業では、起業や事業承継（第二創業）について学びながら、「起業とは何か」を探究します。起業は単なるビジネスの立ち上げだけでなく、自分の思いや問題意識を形にすることもあります。ベンチャー企業の創業者、地域で活躍する小規模ビジネスの経営者、家業を引き継ぐ後継者など、起業には多様な形があり、それぞれに異なる目的や背景があります。しかし、どんな起業にも共通するのは、違和感や問題意識、自分が感じたことといった「自分の根っこにあるもの」が出发点になるということです。

本科目では、起業の基礎知識を学ぶとともに、実際の起業事例やビジネスアイデアの作り方を通じて、「自分にとっての起業とは何か」を考えます。また、会社を引き継ぐ事業承継にも触れ、起業の選択肢を広い視点で捉えながら、「起業の本質とは何か」を探究していきます。

到達目標

- ディプロマ・ポリシーに基づき、以下を到達目標とします。
1. 起業、事業承継（第二創業）とは何か、取り巻く環境を理解できる
 2. 多様な起業の形態があることを知り、具体的な事例で説明することができる
 3. 起業や事業承継（第二創業）を実現するにあたり必要な知識や考え方を理解し説明することができる
 4. もし自分が起業すると仮定したとき、その起業アイデアを作ることができる

提出課題

1. 授業の学び、理解度確認
授業の中で「授業の学び」、「理解度確認」等を提出してもらいます。（毎回～2回に一度程度）。
2. 期末まとめテスト（文章形式）
3. 期末定期試験（レポート）
期末定期試験としてのレポートを提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

個別でのフィードバックは行いません。授業の中でいくつか紹介していきます。

評価の基準

1. 授業姿勢、「授業の学び」、「理解度確認」、「期末まとめテスト」、70%
出席は11回以上、「授業の学び」、「理解度確認」等の提出回数が実施回数の2/3以上であることを単位取得の最低必要条件とします。
出席は、授業中複数回行う「E8ツール」等で判断します。
第15回に実施する期末まとめテストの提出を単位取得の最低必要条件とします。
2. 期末レポート 30%
期末レポートの提出を単位取得の最低必要条件とします。

評価項目の内容や評価割合を変更することがあります。その場合は授業及び講義連絡でお知らせします。

履修にあたっての注意・助言他

- ・新聞やTV、ネット等のニュースや記事等で、起業や起業家、事業承継に関する内容のものに積極的に触れてください。これらの自ら得た情報が授業で学んだこととなり、意外と自分の身近なところにあるということを知ることができるとなっています。
- ・授業参加を重視した科目です。集中して授業を受けてください。他の受講生の迷惑となる行為、E8ツール等以外のスマホはしないでください。
- ・受講生が多い場合もグループディスカッションを行うことがあります。
- ・理解度確認やテスト、レポート実施に際して、他者・ネット資料、生成AI、翻訳AI等からの単純コピペは厳禁です。コピペが判明した場合は、当該点数が0点となります。自分の力で課題に取り組んでください。

教科書

.使用しない。

参考図書

.エフェクチュエーション 優れた起業家が実践する「5つの原則」	吉田 潤梨, 中村 龍太	ダイヤモンド社	1980	4478110744
.9割の社会問題はビジネスで解決できる。	田口 一成	PHP研究所	1760	4569849133

その他

配布するレジュメで授業を進めていきます。

授業計画

1. ガイダンスとイントロダクション（起業とは何か？）
<予備> シラバスを確認し、「起業」という言葉から連想するものを考える（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める（120分）
2. 起業の基礎（起業の真意と環境）
<予備> 講義資料を確認し、身近にある起業の例を考える（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める（120分）
3. 企業の形態（企業の形態、資金調達など）
<予備> 講義資料を確認し、設立プロセスについて整理する（120分）
<復習> 授業の事例をもとに改めて資金調達の手段を整理する（120分）
4. 事業の選択（起業を促進する制度、仕組み）
<予備> 講義資料を確認し、支援制度について自分が知っているものを調べる（120分）
<復習> 自分がもし起業するとしたら、必要な許認可や資金規模、活用できる支援策を考える（120分）
- 5～8. 起業事例
地域企業、ベンチャー・スタートアップ、社会起業など多様な起業事例について学ぶ
<予備> 講義資料を確認し、授業で扱う企業・起業家について事前に調べる（各自120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める（各自120分）
9. 中間まとめ
<予備> これまでの講義資料を見直し、印象に残った内容を整理する（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、自分の考えをまとめる（120分）
10. 事業承継（事業承継の実態と課題）
<予備> 講義資料を確認し、事業承継について自分なりのイメージを持つ（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める（120分）
11. 事業承継（第二創業・新たな事業創出）
<予備> 講義資料を確認し、事業承継を継に成長した企業を調べる（120分）
<復習> 自分がもし起業するとしたら、起業に最低限必要なこと
1.2. これまでの講義資料を改めて見直し、起業のプロセスを整理する（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、自分の中での違和感や問題意識、感じたことなどに向き合う（120分）
13. 自分が起業するとしたら、起業のアイデア創出
<予備> 講義資料を確認し、自分の興味や問題意識を整理する（120分）
<復習> 自分の思いに基づいた事業アイデアを考え、授業で学んだフレーム等を用いてアイデアをブラッシュアップする（120分）
14. 自分が起業するとしたら、事業コンセプトを作ってみよう
<予備> これまでの講義資料を確認し、事業コンセプトの作り方を整理する（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、自身の事業アイデアを用いて、実際に事業コンセプトをつくらせてみる（120分）
15. 全体まとめ・期末まとめテスト
<予備> これまでの講義内容を振り返り、自分の学びを整理する（120分）
<復習> 講義資料およびメモを整理・復習し、授業内容の理解を深める。起業とは何か、起業の価値は何かを整理する（120分）

順番や内容が一部変更となる場合があります。その際は授業や講義連絡でお知らせします

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- ・起業、事業承継の現状や課題にかかる知識を身に付け、企業マネジメントに関する問題探索、課題提案ができる。
- ・起業や事業承継の形態や行動について、経営理論を交えながら理解することができる。
- ・自分が起業すると仮定したときの具体的な起業アイデア創出と、そのアイデアに基づいた事業計画の基礎を作成することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

授業中E8ツール等を使用して、問いを出したり、意見集約等を行うことを想定しています。グループディスカッションを複数回行います。

実務経験の有無及び活用

実務経験あり
大学卒業後、国の中小企業支援機関を中心に20年超勤務してきました。
その中で、起業に関心を持つ人たちを増やす取り組みや起業支援、中小企業のコンサルティング業務などに関わってきました。
経済産業大臣認定・中小企業診断士。

備考